

がんばろう福島

情報をお寄せください メールアドレス:sn-fukushima@sponichi.co.jp

〒960-0808 福島市太田町13-17
 民報ビル1F
 FAX 0245(53)1011
 FAX 0245(53)1117
 FAX 0245(53)1117
 FAX 0245(53)1117
 FAX 0245(53)1117

大堀「当てるだけ」前半同点ゴールでお膳立て



前半32分、同点ゴールを決めガッツポーズのMF大堀

劇的開幕！新チーム初公式戦で勝負強さ発揮

尚志

開幕し、1回戦4試合が行われた。新チームとして初の公式戦に臨んだ尚志は、延長の末に仙台城南(宮城)に2-1で競り勝って準決勝に進出。相手の引いた守りに苦しんだが、試合終了間際の延長後半9分にDF生井沢(仙台)が勝ち越し弾を決めた。

第15回東北高校新人サッカー選手権大会 男子第1日

(6日 相馬光陽サッカー場)

よう7日は決勝進出を懸け、山形中央と対戦。初出場の磐城は遠野(岩手)の牙城を崩すことができず0-4で敗れた。

▽1回戦

尚志	2	0
延長	1	0
仙台城南	1	0
宮城	0	0

▽得点者【尚】大堀、生井沢【仙】今野

県大会決勝の「再現」

1-1で迎えた延長後半9分。尚志がPK戦に備え、GKを蒲谷拓人(2年)から堀江亮博(同)に交代。均衡が破れたのは、まさにその直後だった。MF常盤悠(同)からのクロスに飛び出したDF生井沢は、冷静にトラップすると相手GKの

△尚志・仙 動きを
 △尚志・仙 動きを
 △尚志・仙 動きを
 △尚志・仙 動きを

延長終了直前 生井沢V弾



左足で勝ち越しのシュートを蹴り込む

見てゴール右へシュート。ネットが揺れるのを確認すると、跳び上がった。相手の守備が引き気味になっていたため、右サイドバックの生井沢は積極的に前へ出ていた。クロスが流れてきたら、と走り込んだ。トラップもいどころにピタッと止まったので、しっかりとシュートにいった。歓喜の輪の中で喜びを爆発させた。もどかしい中でも最後に勝負強さを発揮した。前半25分にPKで先制を許したが、7分後には左CKから相手選手に当たったボールを、MF大堀憲哉(2年)が「当てるだけだった」とジャンプしながら右足を伸ばして同点ゴール。その後はボールを支配し攻勢をかけたが、なかなかゴールネットを揺らすことができない。ほとんどの選手がPK戦を覚悟する中、試合を決めたのは県大会決勝でも決勝弾をたたきこんだ生井沢だった。

勝利に進藤主将ホッ

昨年12月の県新人大会は、年末の全国高校選手権に出場した数人が欠場した。今大会が新チームに移行して初めての公式戦。DF進藤雅也主将(同)も「やっと勝てた。ヒヤヒヤしたが、初めての公式戦を勝てて良かった」とホッとした様子だ。新チーム結成後は基礎トレーニング中心のメニューだったこともあり、クロスの精度などに課題も出た。進藤主将は「引いて守られたら、ピンポイントに合わない点が入らない。しっかり修正したい」と気を引き締める。きょう7日の準決勝では山形中央と戦う。DF生井沢は「あす(7日)も勝つだけ」と次の戦いへ目を向けた。

(渡辺 雪枝)

初出場4失点完敗も主将「手応えあった」

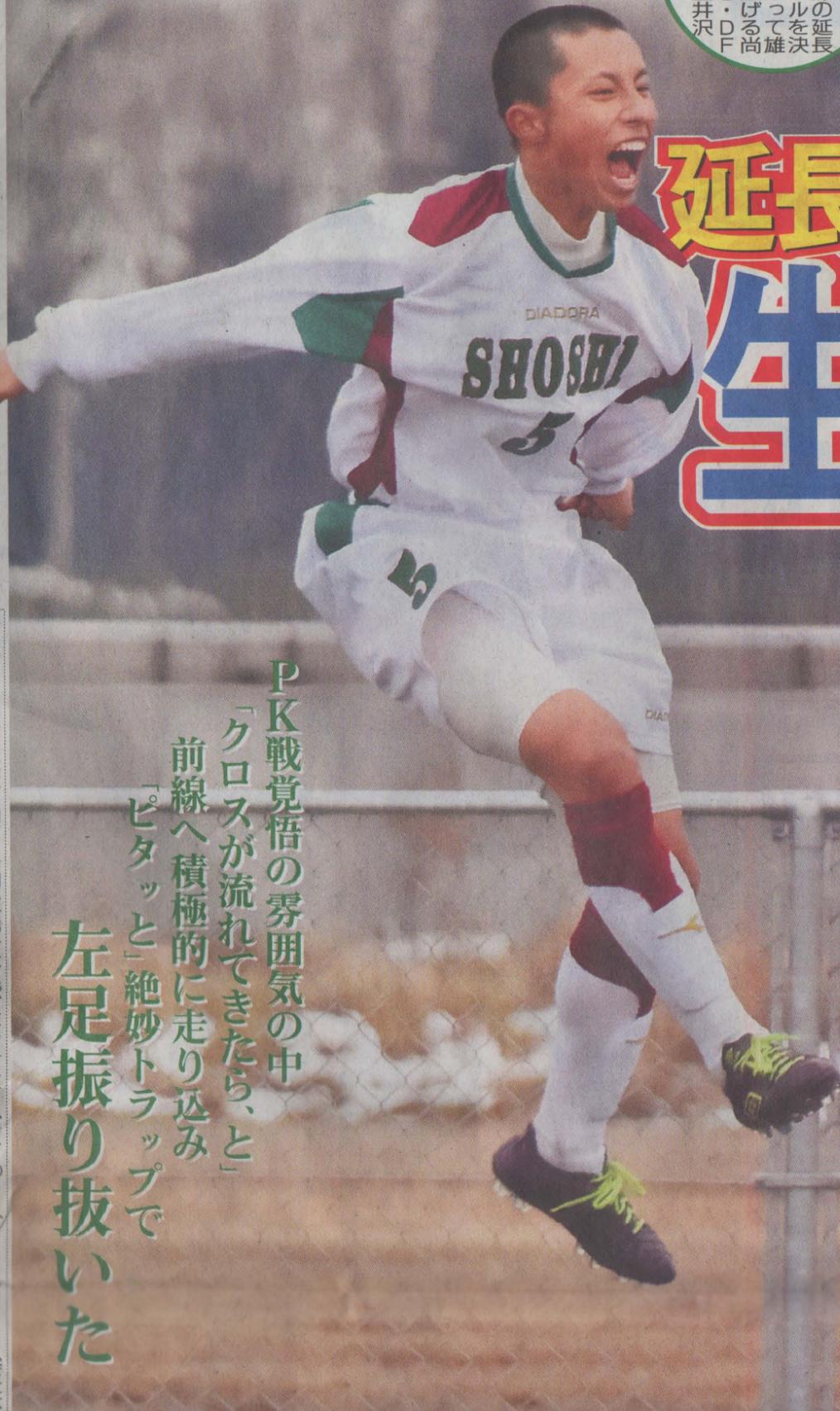
＜磐城＞東北新人は初出場だったが、4失点で完敗。本年度の全国選手権に出場した遠野の壁は厚かった。前半はスピードのある相手にボールを支配され守備の時間

が多かったが、後半は何度も相手ゴールを脅かし意地を見せた。GK長沢弘平主将(2年)は「相手の方が上手だったが、思った以上に自分たちのサッカーができた。手応えはあったので、自信を持ってあす(7日の秋田商戦)に臨みたい」と気持ちを切り替えた。



△その他の成績…○

山形中央	2	1
盛岡商	0	0
青森山田	1	0
秋田商	0	0



PK戦覚悟の雰囲気の中

「クロスが流れてきたら」と、前線へ積極的に走り込み

「ピタッと」絶妙トラップで

左足振り抜いた

「がんばろう福島」の写真に関するお問い合わせはスポニチフォトサービス部(03)3820-0644または編集部

1点守りきり県勢初の単独

尚志

尚志が大会初制覇を飾った。初の決勝進出を果たした尚志は強豪・青森山田と対戦。序盤から激しく攻め込まれたが、後半10分にカウンターからMF平野正人が1点を奪取し、県勢としても初の単独優勝。目標の全国制覇へ弾みをつけた。

第15回東北高校新人サッカー選手権大会男子最終日 (8日 相馬光陽サッカー場)

0で勝利した。ベストメンバーではなかったがプレミアリーグに所属する青森山田を撃破し、県勢としても初の単独優勝。目標の全国制覇へ弾みをつけた。



優勝カップを持ったMF平野を中心に喜びを爆発させる尚志イレブン

初V

強豪青森山田撃破

◇東北高校新人サッカー選手権大会◇

山形中央	2-1
盛岡尚志	2-0
仙台城南	2-1
青森山田	1-0
秋田商	3-0
磐城野	4-0

▽決勝
尚志1(0-0)青森山田
▽得点者(尚志)平野

全国制覇へ弾み

152と今大会の登録全選手の中でも最も身長が低いMF平野が、大仕事をやってのけた。後半10分。劣勢だった尚志は相手ボールを後方で奪うと、MF大堀憲哉(2年)が前線へロングボールを蹴り込んだ。1対80の相手DFはボールの進路を予測し左へ走り込んだが、平野はさらにボールの軌道を見極め、相手DFの視界からすりよると消えるように右へ。相手GKがちゅうちょしながら前に出てきたことも冷静に確認するチームでヘッドからスタート、ワンバウンドしたボールをヘディングで先制弾を叩き込んだ。平野自身にとってトップチームの初ゴール。しかも、頭で決めるのは公式戦初とあって「一体では勝てないが、予測し、うまく忍びながらプレース。試合前に監督からキーマンと言われていたので必ず点を取ってやろうと思った」と喜んだ。

「中学2年から身長が伸びていない」という平野だが、仲村浩二監督(43)は「努力家なので、彼が出場することに對しての反論はないし運も巡る」と喜んだ。

「中学2年から身長が伸びていない」という平野だが、仲村浩二監督(43)は「努力家なので、彼が出場することに對しての反論はないし運も巡る」と喜んだ。

合○：粘り強い守備も光った。青森山田に序盤から猛攻を受けたが、「守備の時間が長いことは覚悟して橋いたが、最初の10分で失点しないことだけを考えていた」と集中。危ない場面は度々あったが、一丸となって守り抜いた。1月末、市船橋(千葉)との練習試合では相手の名前にひるんでしまったというが、この日は冷静だった。進藤主将は「市船橋とやったから青森山田にもビビらず、つなぐことができた。ゼロで終わって良かった」とホッとした表情を浮かべた。



尚志・青森山田V公式戦初のヘディングシュートを決める尚志・MF平野

152センチ平野ヘッドで尚志初V

東北高校新人サッカー

◇8日◇最終日◇相馬光陽サッカー場ほか◇男女決勝

男子は尚志(福島)が1-0で青森山田を下し、初優勝を果たした。後半10分、身長152センチのMF平野正人(2年)が決勝ヘッドを決めた。宮城・松島で行われた女子は、常盤木学園が、仙台育英との対決を延長戦の末、2-0で退けて5大会連続5度目の優勝を飾った。

【男子】▽決勝

尚志 1-0-0 青森山田
(福島) 尚 (青森)

【尚】平野

技あり

小さくても、頭で決められる

んです。後半10分、体を回転させてDFを振り切った平野が、クロスファンバウンドを走り込んで頭で押し込んだ。「高校では初めて。人生2回目。点とれてよかった」。両軍最小兵が技ありの決勝点をたたき込んだ。

神出鬼没の動きでボールを奪取した。「頭では勝てる気がしない。真っ正面からいくと取れない。セカンドボールを狙ってた」。父は162センチで、母と姉2人

決勝ゴールの尚志MF平野がトロフィーを掲げ、喜びを爆発させる

は平野よりも小さい。中学では身長を伸ばす栄養剤「セノビック」を1日2本飲んだが、中で伸びが止まった。「小さいからできないと思われたくない」。新チームからトップ昇格を果たした「小さな巨人」が、大きな1歩を踏み出した。